

おい書館 No. 21

市川図書館を 見学して

六月二日、市川市中央図書館の見学に行きました。以前確か新聞の投書か何かで「地方自治体関係の建物が立派になつた」という意味のものを読んだ記憶があります。この図書館もその感じを強くしました。

入るとすぐ左側に軽読書室というのがある。ソファーに腰かけての新刊、雑誌の閲覧室がありました。これとお茶でも吞めればこの上ない環境である。

ずらりと並んでいるカウンタは理事者側としては自慢の種であつたが、それより私は、書棚にまだ本は少なかつたが「戦争と平和」関係のスペースがとつてあつたのは、千葉県の市として平和都市宣言をいち早くしたただけあると思ひました。

子供図書室で図書だけでなく紙芝居、じやうたんを数いたつてつろぎのひろば一年よりじつた呼び方だが「」などいたれりつくせりであるが、利用者は少ない様子です。子供には近くて気軽に行ける所にある事の方が利用者が多い

のではないかと思ひました。

松戸市でも

早速建て替へが必要と思ひます



のそ一言、「おい書館」の皆様にお願いしたいことは、三百何十億というお金を使つて自然を破壊した「二十一世紀の森」と広場の建設のようなことはさせないでいただきたいのです。何故なら、障害者や高齢者が「西口から東口に行くのに階段の昇り降りが大変だから西口にエレベーターをつけてほしい」と願つたのに対し、「徳円かかり出来ない」と。これが川井市長の言われる「すきよい松戸市づくり」でしょう。高令者福祉はこの近辺としては一番おくれしている松戸市を考え、外観もなく、中味もある、松戸市民、大人も子供も、どの地域の人も、中央だけでなく地域のことも考えた立派な図書館を希望します。

(山本菊代)

先日、市川市立図書館を見学して時代の变化を感じました。

清安に次いで二度目の図書館見学になりましたが、市立でありながら、こんな素敵な建物が建てられるなんてすごいと思えました。松戸市でもぜひ、図書館を建てる時には、一般市民であり、本を愛する「お

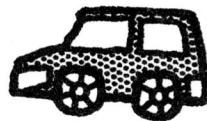
い図書館」の方たちの意見を聞いて、充分な時間を

かけて、センスの良い設計をしていただきたいと思います。

松戸市では、二十一世紀の森ができて、ようやく家族連れで息抜きできる場所ができて喜んでおられます。前は流山運動公園に行っていました。今では、二十世紀の森に変わっているように感じました。ようやく松戸市にも家族で出かける所ができたとう



市川図書館見学記



れしい気分です。

ところで大人が一人でも気楽に行ける所と、しかもお金がからない所がほしいと思います。一人家にもつて本を読んでいる方もたくさんいると思います。公共の施設でありながら、リビング感覚の本が読める場所、

の方が相談を受けてくれるコーナーがあり、安心して相談できるのもいいと思えました。又、子供の図書コーナーも、いき届いた作りになっており、隣接している遊びコーナーもいいと思えました。子供だけ置いて買物に行ってしまう親がいて困るとおっしゃつ

又はビデオを見られる場所、又、音楽が聞ける場所があれば、色々な方が豊かな気持ちになれる

でしょう。向上心を満足させる為に使われる他に、息抜きの場としてゆったりすわれる椅子があつたらいいと思います。

市川市立図書館では、職員の方がいていいに接してくれ、借し出しの他に司書の資格を持つ

す事や、友達づくりがどんなに大変かを理解していただき、せめて一時間でもおつくり本を読ませるようになってくれたらと思えました。(大橋美和子)

発行「ちい図書館」

連絡先 青木和子

松戸市 松分八三〇、之〇
四七二(文七)五三八四